

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2018年5月3日～2018年5月9日)

平成 30 年(2018 年)5 月 11 日

H E A D L I N E S	
<p>政治 ドゥダ大統領, 裁判所制度改正法案及び憲法法廷関連法修正案に署名 最高裁判所法等改正案の国会提出 欧州委員会, 2021年以降の中期予算案を発表 米国ジャージーシティ市長, 市内のポーランド人将校虐殺追悼碑の移設を巡ってカルチェフスキ上院議長を批判 シャトコフスキ国防次官, 米陸軍師団のポーランド展開の可能性に関し発言 ブワシュチャク国防大臣, 非公式EU国防大臣会合に参加 チャプトヴィチ外相, アルバニアを訪問 ソロフ国家安全保障局長官, ポーランドの朝鮮半島のプレゼンス強化に関し発言 チャプトヴィチ外相, ラトビアを訪問</p>	<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。 問合せ先: 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍 国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>治安等 警察, ワルシャワ市内でデモ活動を行ったネオナチ関係者を拘束 連休期間中の交通事故統計 警察, 国際指名手配中のチェチェン人を拘束 国境警備隊, リトアニア発長距離バス車内で密入国者を拘束 警察, 自動車盗難に関する統計を発表 警察, ファシズムに関する服飾品を販売したポーランド人3人を逮捕 警察, 100万ズロチ相当の違法薬物を押収</p>	
<p>経済 アフリカ豚コレラ対策フェンスの設置 欧州委員会, ポーランドの経済成長率を上方修正 2017年の海外直接投資額 4月の失業率 米国の火星探査機にポーランド企業が開発した機器が搭載 政府, 不公平競争防止法改正案を採択 国営ガス企業ガスシステム社, スロバキアのユーストリーム社とパイプライン接続で合意 ドゥダ大統領, 中欧におけるガス市場自由化を支持</p>	
<p>大使館からのお知らせ 長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い パスポートダウンロード申請書の御案内 平成30年度前期分教科書の配布に関する御案内 領事出張サービスの実施に関する御案内 海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口について 国際機関への就職に関心がある皆様へ 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>	
<p>在ポーランド日本国大使館 ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>	

政 治

内 政

ドゥダ大統領、裁判所制度改正法案及び憲法法廷
関連法修正案に署名【2日】

2日、ドゥダ大統領は、4月16日に上院で可決された、普通裁判所裁判官の退官年齢を男女ともに65歳とする等の変更を含む裁判所制度改正法案及び未掲載の憲法法廷判決の官報への掲載を規定する憲法法廷関連法の修正案に署名した。

最高裁判所法等改正案の国会提出【4日】

4日、与党「法と正義」(PiS)は、最高裁判所法等改正案を下院に提出した。本改正案では、現行の最高裁判所法における特別抗告制度に関し、利用条件を厳格化するほか、特別抗告の要請を受理し最高裁に提起する機関を、現在の8つから検事総長及び人権擁護官の2つのみに限定するとしている。

外交・安全保障

欧州委員会、2021年以降の中期予算案を発表【2
日】

2日、欧州委員会は2021-2027年における総額1兆2790億ユーロ(約168兆円)の中期予算案を発表した。同案によれば、現2014-2020年予算と比較し、結束基金は7%、共通農業政策基金は5%が削減される。ポーランドを含む各国への割当額案等は提示されていない。また同委は、資金配分の執行と当該国における法の支配の遵守を関連させることを提案した。シマンスキ外務副大臣は、ポーランドの期待からは尚遠く、同削減は事実上、予算問題における迅速な解決に至る見通しを遠ざけると述べた。

米国ジャージーシティ市長、市内のポーランド人将校
虐殺追悼碑の移設を巡ってカルチェフスキ上院議長
を批判【3日】

3日、米国ジャージーシティのフロブ市長が、ツイッター上でカルチェフスキ上院議長について、反ユダヤ主義、白人民族主義者、ホロコースト否定者、全く信用できない人物、唯一の不快なものとして批判した。発端は4月30日に、同市長が市内にある第二次大戦中に露西部カティンでソ連に虐殺されたポーランド人将校約2万2千人を追悼する碑を一時的に移転する計画を、同市のポーランド人コミュニティへの事前通告なしに発表し、カルチェフスキ上院議長が同決定に疑義を呈したこと。同市長は移転の理由につき、像のある場所に公園を設けるためとしている。5日、同上院議長は、同市長による非難は非常に強く、事実上反するとして、法的措置を執る考えを示した。

シャトコフスキ国防次官、米陸軍師団のポーランド展
開の可能性に関し発言【4日】

4日、シャトコフスキ国防次官は、ポーランドにおける米軍のプレゼンス向上の有望な見込みがあるのは、陸軍師団の展開であり、師団の展開により、地域の各司令部、支援部隊等の多様な部隊を統合できるが、米国政府のリスクを負いたくない姿勢や巨

大な官僚組織により、実現のためには、様々なレベルの調整が必要であると述べた。

ブワシュチャク国防大臣、非公式EU国防大臣会合
に参加【5日】

5日、ブワシュチャク国防大臣は、ブルガリアで開催された非公式EU国防相会合に参加し、6月のNATO首脳会合の準備の一環としての常設構造協力枠組(PESCO)等について意見交換を行うとともに、「軍機動プログラム」と呼ばれる、南北道路網建設計画を他の中東欧諸国とともに提起した。

チャプトヴィチ外相、アルバニアを訪問【7日】

7日、チャプトヴィチ外相はアルバニアを訪問し、メタ大統領及びブシャティ外相と会談した。外相会談後の共同記者会見においてチャプトヴィチ外相は、ポーランドはアルバニア等西バルカン諸国が強いEU加盟国となることを支持すると強調した。また、アルバニアのNATOの東方地域における安全保障面での貢献に感謝すると述べた。

ソロフ国家安全保障局長官、ポーランドの朝鮮半島
のプレゼンス強化に関し発言【8日】

8日、ソロフ国家安全保障局長官は、民放ラジオ局の番組において、朝鮮半島の紛争の脅威により、欧州における米国の関与を弱めている認識から、同地域の安定化に強い関心があり、朝鮮半島の中立地帯におけるポーランドのプレゼンスを強化する考えがあり、平壤にポーランド大使館を有し、非武装中立地帯(DMZ)に非常駐の施設を有するポーランドとして、プレゼンスを強化する可能性を国防大臣と議論を行っているとして述べた。

チャプトヴィチ外相、ラトビアを訪問【9日】

9日、チャプトヴィチ外相はラトビアを訪問し、リンケービッチ外相と、地域の安全保障、欧州問題、Brexit、EUの中期予算原案等につき会談した。また、ベルグマニス国防相とも会談した他、同国のアダジ

(Adazi)に展開するポーランド軍部隊を訪問した。

治 安 等

警察、ワルシャワ市内でデモ活動を行ったネオナチ関係者を拘束【6日】

ワルシャワ首都警察は1日にワルシャワ市内で実施されたデモ行進Stormy May Dayにナチス親衛隊(SS)のシンボルが描かれたTシャツを着用して参加したネオナチ関係者を特定し、拘束した。警察は、容疑者が所持していたファシズムに関する書籍、宣伝資料等も押収した。容疑者には2年以下の禁錮が求刑される見込み。

連休期間中の交通事故統計【7日】

7日、国家警察本部は、4月27日から5月7日までの連休期間中に発生した交通事故に関する統計を発表した。期間中、ポーランド国内で850件の交通事故が発生し、1,081人が負傷、72人が死亡した。また、3,582件の飲酒運転が摘発された。警察は、強引な追い越しによる交通事故が多発しているとして注意を呼びかけている。

警察、国際指名手配中のチェチェン人を拘束【7日】

7日、国家警察本部は、ワルシャワ近郊のプルシュクフで、殺人等の容疑で国際指名手配中のチェチェン人を拘束した。同人は、ドイツのブレーメンで殺人等を犯したとしてドイツ警察から国際指名手配されており、拘束の際は、ポーランド警察特殊部隊が動員された。

国境警備隊、リトアニア発長距離バス車内で密入国者を拘束【8日】

8日、国境警備隊は、ポーランド・リトアニア国境検問所を通過するリガ発ケルン行き長距離バス車内で身分証検査を実施した際、偽のハンガリーの身分証を提示した密入国者を拘束した。容疑者はイラン人である旨述べている。

警察、自動車盗難に関する統計を発表【9日】

国家警察本部が発表した2017年の自動車盗難に関する統計によれば、同年中、1か月あたり約900台の自動車はポーランド国内で盗難された。月別で見ると、3月の被害が最多で、12月の被害が最少であった。県別で見ると、ワルシャワの所在するマゾヴィエツキエ県での被害が最多(2,844件)で、シロンスキエ県(1,245件)、ヴィエルコ・ポルスキエ県(1,170件)がこれに続く。自動車の盗難件数自体は年々減少傾向にあるものの、依然、警察による摘発率は低水準に止まっており、2017年の摘発率は全国平均で21.9%であった。ポーランド全土で見ると、ドイツ車の盗難被害が多いが、ワルシャワに限定するとトヨタをはじめとする日本メーカーの車両が盗難されやすい傾向にあり、特に路上や警備の不十分な駐車場で被害が多発している。なお、当地では盗難車は解体され部品としてばら売りされるか、ロシアやウクライナに不正輸出されるケースが多い。

警察、ファシズムに関する服飾品を販売したポーランド人3人を逮捕【9日】

9日、警察は、ポーランド・ドイツ国境の町ウエンクニツアの市場でヘルメット、バッチ等のファシズムに関する服飾品1,800点を販売したとしてジョリイ在住のポーランド人男性3人を逮捕した。容疑者には2年以下の禁錮が求刑される見込み。

警察、100万ズロチ相当の違法薬物を押収【10日】

ワルシャワ首都警察は、100万ズロチ相当の大麻を販売目的で所持していたとして、ワルシャワ近郊のプルシュクフに居住するポーランド人男性を逮捕し、容疑者宅から大麻5万包(100万ズロチ相当)を押収した。警察は、容疑者について、密売人に大麻を販売する元締めで、同人が密売人に販売した大麻がワルシャワ市内の闇市場で流通していたとしている。容疑者には12年以下の禁錮が求刑される見込み。

経 済

経済政策

アフリカ豚コレラ対策フェンスの設置【6日】

ユルギエル農業・農村開発大臣は、ウクライナ、ベラルーシ、ロシア(カリーニングラード)からのアフリカ豚コレラ(ASF)感染イノシシの侵入を防ぐための1,200キロのフェンス設置に関し、5月中旬にも政府決定がなされる見通しと述べた。同大臣は、環境要件を満たす必要があるため、事業実施計画

に時間を要しているとし、ポーランド国内ではASFは管理されているが、感染した野生イノシシの侵入が課題であるとした。

マクロ経済動向・統計

欧州委員会、ポーランドの経済成長率を上方修正【3日】

欧州委員会(EC)は、ポーランドの経済成長率の見通しを上方修正した。2018年は、当初予測の3.8%から4.3%、2019年は、3.4%から3.7%に引き上げた。内需とEU構造基金を活用した公共投資が経済成長の主な牽引役となる見込みで、EUの経済専門家によると、個人消費は2018年から2019年にかけて徐々に減少するが、高い賃金上昇率と消費意欲に支えられ、引き続き高い水準を維持する見通しである。

2017年の海外直接投資額【8日】

ポーランド中央銀行によると、2017年の対ポーランド海外直接投資額は243億ズロチ(57億ユーロ)で、前年の549億ズロチ(129億ユーロ)から55%減となった。同行は、海外直接投資額の減少の主要因について、ポーランド人による外国投資家のポーランド企業の保有株の買取りが進み、資金が振り向けられたためとしている。

4月の失業率【9日】

家族・労働・社会政策省によると、4月の失業率は6.3%(前月比0.3%減)、4月末時点の登録失業者数は104万人となった。

ポーランド産業動向

米国の火星探査機にポーランド企業が開発した機器が搭載【5日】

NASAが5日に打ち上げられた火星の内部構造を調査する新型探査機に、ポーランドの企業が開発した熱性質を評価する機器が搭載された。

政府、不公平競争防止法改正案を採択【7日～8日】

政府は、企業機密等の秘密保持に関するEU規制に適合させるため、不公平競争防止法の改正案を閣議採択した。欧州単一市場の理念の下、公正な競争を防止しつつ、競争力ある市場を形成することを目的とする。また、ポーランド下院は、EU一般データ保護規制(GDPR)への適合に向けた個人情報保護法案改正の審議を開始した。

エネルギー・環境

国営ガス企業ガスシステム社、スロバキアのユーーストリーム社とパイプライン接続で合意【4日】

国営ガス企業ガスシステム社は、スロバキア・ユーーストリーム社と、両国間のパイプライン接続に関する契約に合意した。同契約は、中東欧地域全体のガス供給源の多様化を目的とし、今年後半から作業を開始し、2021年末までに接続を完了させる予定。

ドゥダ大統領、中欧におけるガス市場自由化を支持【7日】

ドゥダ大統領は、安全保障、安定性、利益性等を考慮し、中欧におけるガス自由化を支持する旨述べた。ガス自由化の実現に向けて、シフィノウィンチェのLNG基地が最重要の場所となる。エネルギー多様化や中欧結束に資すれば、EUは関連基金を通じて支持し得ると述べた。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、2017年もスペイン、フランス等で新たなテロが発生しており、今年も引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

パスポートダウンロード申請書の御案内

2017年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

平成30年度前期分教科書の配布に関する御案内

在ポーランド日本国大使館では、ポーランド在住で平成29年9月末日までに大使館に「在留届」を提出している邦人子女を対象に、日本の小学生、中学生用の教科書(平成30年度 前期分)を配布しています。御希望の方は『教科書申込書』を入手の上、該当事項を記入して、下記の申込先に送付してください。ワルシャワ日本人学校の児童、生徒(入学予定者を含む)については、同校を通じて配布いたしますので、申し込みの必要はありません。なお、教科書自体は無償ですが、郵送による受取りを希望される方については、大使館(ワルシャワ市)から「着払い」にて送付するため送料が発生します。あらかじめ御了承ください。

教科書申込書のリンク:<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho30.1semester.pdf>

申込先: cons@wr.mofa.go.jp (Eメールの場合)

22-696-5006 (FAXの場合)

ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa(郵送の場合)

領事出張サービスの実施に関する御案内

在ポーランド日本国大使館は、ヴロツワフ市において、遠隔地にお住まいの在留邦人の皆様を対象に、旅券(パスポート)の申請または交付、各証明書の申請、戸籍・国籍の届出、在外選挙人名簿登録の申請、在留

届の受付等を行う領事出張サービスを実施します。会場及び実施日時は下記のとおりです。同サービスの利用を希望される方は、当館領事部ウェブサイトをご確認の上、予約等の事前手続きをお願いいたします。

予約方法や必要書類に関するお知らせ：<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/ryoujishutchou30wroclaw.pdf>

会場: Hotel Mercure Wrocław Centrum , Plac Dominikański 1,50-159 Wrocław

実施日: 2018年5月19日(土曜日)

実施時間: 午前9時30分から午後12時15分まで , 午後1時15分から午後4時まで

海外に在留する邦人の子女に対するいじめ相談窓口について

海外に在留する邦人の子女への教育振興を目的に活動する公益財団法人・海外子女教育振興財団は、海外子女教育専門の教育相談員による教育相談を実施しているところ、この度、いじめに関しても相談を受け付けることとなりました。詳細については、下記にお問い合わせください。

問合せ先: 公益財団法人 海外子女教育振興財団 事業部 教育相談事業チーム

電話: 81-3-4330-1352(受付時間: 月~金曜 10時~16時)

Eメール: soudanjigyol@joes.or.jp

国際機関への就職に関心がある皆様へ

在ポーランド日本国大使館では、国際機関への就職に関心がある日本人の方を対象に、外務省国際機関人事センター作成の資料を配付しています。御希望の方は、大使館広報文化センターへお問い合わせください。

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜~金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本人形展: 魔法・民族・神話【3月3日(土)~6月3日(日)】

グダンスク市にて、グダンスク国立博物館民族誌部主催による『日本人形展: 魔法・民族・神話』が開催されます。日本人形、ひな人形、こけし、だるまなどが展示中です。

開催場所: グダンスク市 (ポモージェ県), グダンスク国立博物館民族誌部, ul. Cystersów 19

詳細: <https://www.facebook.com/MuzeumNarodoweGdansk/>

【開催中】展示会: 「文化と遊ぶ: アジアの伝統的なゲーム・遊び」【4月7日(土)~6月30日(土)】

ワルシャワ市にて、アジア太平洋博物館主催による展示会『文化と遊ぶ: アジアの伝統的なゲーム・遊び』が開催されます。お手玉、けん玉、竹とんぼ、あやとり、手まり、こま、将棋などが展示中です。

開催場所: ワルシャワ市, アジア太平洋博物館, ul. Solec 24

詳細: <http://www.muzeumazji.pl/>

【開催中】ピウスツキ兄弟: ペンと銃で独立へ【4月27日(金)~11月11日(日)】

ジョリ市にて、ジョリ市立博物館主催による『ピウスツキ兄弟: ペンと銃で独立へ』が開催中です。プロニスワフ・ピウスツキによるアイヌ研究にフォーカスしたピウスツキ兄弟に関するイベントです。アイヌ文化及び日ポ関係史を紹介した展覧会、ワークショップ、講演、パフォーマンスなどが予定されています。

開催場所: ジョリ市 (シロンスキエ県), ジョリ市立博物館, ul. Muzealna 1/2

詳細：<http://muzeum.zory.pl/>

【予定】百射会 【5月12日(土)】

ミシャドウォ市にて、ポーランド弓道連盟主催による『百射会』が開催されます。
開催場所：ミシャドウォ市（マゾフシェ県）、教育スポーツセンター、ul. Kwiatowa 28
詳細：<http://kyudo.pl>

【予定】日本の浮世絵展「女：美・カ・忘我」【5月15日(火)～8月15日(水)】

ワジェンキ公園にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催されます。
開催場所：ワルシャワ市、ワジェンキ公園、ul. Agrykola 1
詳細：<https://www.lazienki-krolewskie.pl/pl>

【予定】朝市「日本の週末」【5月19日(土)・20日(日)】

ワルシャワ市にて、朝市ポーランド主催による『朝市「日本の週末」』が開催されます。武道デモンストレーション、様々な子供向けのワークショップ（紙芝居、折り紙、着付け、漫画、花札、碁、将棋など）や三味線コンサートが予定されています。
開催場所：ワルシャワ市
5月19日(土) 9～16時 ジョリボシ区、al. Wojska Polskiego 4/ ul. Śmiała
5月20日(日) 10～17時 モコトフ区、skwer im. AK. Granat, ul. Puławska 113A
詳細：<http://targzniadaniowy.pl/>

【予定】世界極真武道会(WKB)の欧州極真空手選手権 【5月19日(土)～20日(日)】

ワント市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『世界極真武道会(WKB)の欧州極真空手選手権』が開催されます。
開催場所：ワント市（ポトカルパチェ県）、ul. Armii Krajowej 57
詳細：<http://www.karate.lezajsk.pl/>

【予定】講演会と写真展「シベリア孤児：1919年～1922年 日本によるポーランド・シベリア孤児の救済」【6月4日(月)～9日(土)】

ワルシャワ市にて、ポーランド共和国下院主催によるシベリア孤児救済に関する講演会と写真展が開催されます。
日程：4日 9:30時～15:10時 講演会
4日～9日 写真展
開催場所：ワルシャワ市、ポーランド共和国下院、ul. Wiejska 4/6/8, Sala Kolumnowa

【予定】ヴロツワフの日本文化フェスティバル「日本の波」【6月9日(土)～10日(日)】

ヴロツワフ市にて、ポーランド日本親善友好財団「波」主催による『ヴロツワフの日本文化フェスティバル「日本の波」』が開催されます。落語、盆栽、日本食、日本音楽、武道、書道の紹介・ワークショップ等が予定されています。
開催場所：ヴロツワフ市（ドルノシロンスキェ県）、Teatr Piosenki IMPART, ul. Mazowiecka 17
詳細：<http://nihonnonami.pl/>

【予定】第6回日本祭り「Matsuri - Piknik z Kulturą Japońską」【6月16日(土)11時30分～19時】

ポーランド商工会、日本人会、日本大使館主催による第6回「日本祭り」がワルシャワのスウジェフ文化センターで開催されます。様々なステージ演目、武道、着付け、書道、マンガ、生け花、けん玉等のワークショップ・展示など日本をまるごと体験できます。その他に、観光情報コーナーや企業展示、日本食の販売なども予定されています。入場無料。
開催場所：ワルシャワ、Służewski Dom Kultury , ul. Jana Sebastiana Bacha 15
詳細：
フェイスブック <https://www.facebook.com/MatsuriPiknikJaponski>
ウェブサイト <http://www.pl.emb-japan.go.jp/matsuri.html>

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス(newsmail@wr.mofa.go.jp)